

岩手県東日本大震災津波復興計画を策定！

～ いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造 ～

県土整備企画室

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波（平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害）から5ヶ月余りが経ちました。

県では、東日本大震災津波からの復興に向けて、「人命が失われるような津波被害は今回で終わりにする」という決意のもと、災害の苦しみ、悲しみを乗り越え、「安全に、暮らし、働くことができる地域社会」を取り戻すため、科学的、技術的な知見に立脚し、沿岸地域をはじめとした岩手県全体が、東日本大震災津波を乗り越えて力強く復興するための地域の未来の設計図として、平成23年8月11日に「岩手県東日本大震災津波復興計画（以下、「復興計画」という。）」を策定しました。

復興計画は、復興に向けての目指す姿や原則、まちづくりのグランドデザイン、具体的取組の内容等を示した「復興基本計画」と、施策や事業、工程表等を示した「復興実施計画」で構成され、岩手県東日本大震災津波復興委員会等における専門的な審議やパブリックコメント、地域説明会等での意見などを踏まえ、県議会の承認を経て策定したものです。

この計画の目指す姿である「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」に向けた取組を、市町村をはじめとした地域の多様な主体とともに、スピード感を持って効果的・効率的に展開していきます。

今月号では、「復興実施計画（第1期）」に掲げる県土整備部の主要事業等についてご紹介します。

1 計画の名称

岩手県東日本大震災津波復興計画

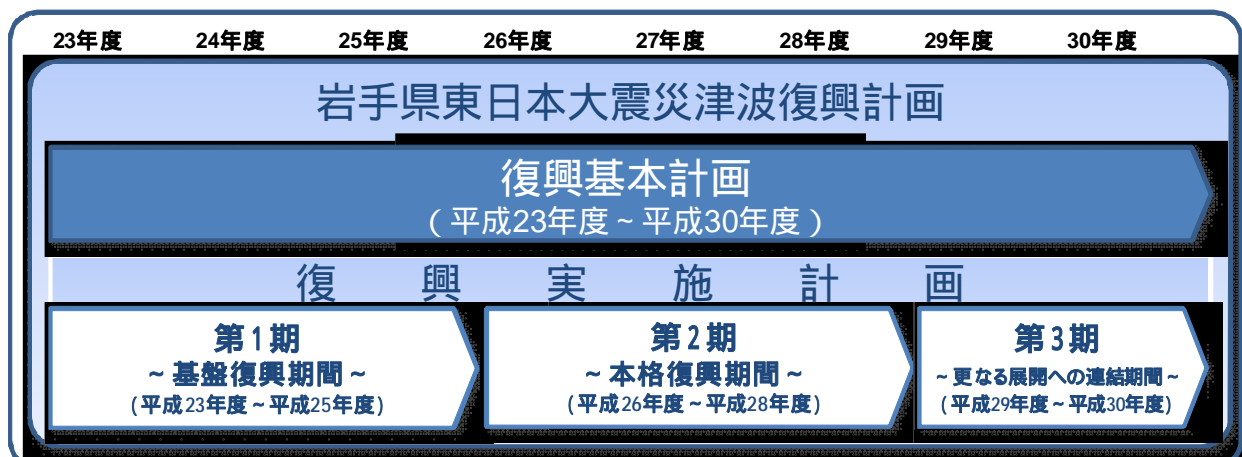
2 計画の期間及び構成

(1) 計画期間

平成23年度～平成30年度

(2) 計画の構成(次の2つの計画で構成)

- ・ 復興に向けての目指す姿や原則、具体的取組の内容等を示す「復興基本計画」
- ・ 施策や事業、工程表等を示す「復興実施計画」



▼ 施策体系

10分野	取組項目	構成事業
「安全」の確保		
<p style="text-align: center;">I 防災のまちづくり</p>	<p>災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり</p>	<p>災害遺棄物緊急処理支援事業★ 多重防災型まちづくり推進事業★ 地域経営推進費事業 東日本大震災社会資本復旧事業 情報通信基盤災害復旧事業 警察官緊急増員事業★ 警察情報管理システム整備事業 警備船さんりく復旧事業 新通信指令システム整備事業 交通安全施設災害復旧事業 広域振興事業 (仮称)放射性物質総合対策事業 環境放射能水準調査事業 学校施設災害復旧事業 (仮称)新県立高田高等学校整備事業 (仮称)県立学校施設防災機能強化事業 警察施設災害復旧事業 運転免許試験場等運営事業 (仮称)被災市町村行政機能回復支援事業★ 木造住宅総合耐震支援事業 災害に強いライフライン整備事業 (仮称)災害対応HP改修事業 (仮称)三陸鉄道復旧整備事業★ (仮称)避難環境整備費補助事業 (仮称)地域防災力向上支援事業 港口防波堤等整備事業★ 土砂災害対策施設整備事業 (仮称)広域防災拠点整備事業★ 防災行政情報通信ネットワーク整備事業 消防救急無線デジタル化事業 (仮称)津波防災伝承事業 クリーンエネルギー導入支援事業 (仮称)再生可能エネルギー導入促進事業★ (仮称)地域防災活動促進事業</p>
	<p>故郷への思いを生かした豊かで快適な生活環境づくり</p>	<p>東日本大震災社会資本復旧事業 災害に強いライフライン整備事業 ひとにやさしいまちづくり推進事業 多重防災型まちづくり推進事業★ メモリアル公園等整備事業★</p>
<p style="text-align: center;">II 交通ネットワーク</p>	<p>災害に強い交通ネットワークの構築</p>	<p>東日本大震災社会資本復旧事業 港口防波堤等整備事業★ 三陸復興道路整備事業★ 道の駅防災機能強化推進事業 (仮称)三陸鉄道復旧整備事業★ 港湾施設機能強化事業</p>

 : 県土整備部の主要事業

10 分野	取組項目	構成事業
「暮らし」の再建		
<p>I 生活・雇用</p>	<p>被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援</p>	<p>被災者一時移送事業 被災者台帳システム整備及び運用支援事業★ 義援金の交付 被災者生活再建支援金の支給 災害援護資金貸付金 多文化共生いわてづくり事業 応急仮設住宅整備事業 生活再建住宅支援事業 総合的被災者相談支援事業★ 域内交通支援事業 震災緊急生活交通確保事業 同生委員（県康委員）活動事業 災害復興公営住宅等整備事業★ 応急仮設住宅再生供給事業 住宅復興支援事業 多重防災型まちづくり推進事業★ 公営住宅ユニバーサルデザイン整備事業</p>
	<p>雇用維持・創出と就業支援</p>	<p>雇用調整助成金や雇用保険等の給付 就業支援推進事業 いわて求職者個別支援モデル事業 地域ジョブカフェ管理運営事業 いわて求職者総合支援センター管理運営事業 緊急雇用創出事業臨時特別基金★ ジョブカフェいわて管理運営事業 市町村緊急雇用創出事業 市町村ふるさと雇用再生特別基金事業 臨時職員緊急雇用事業 雇職者等再就職訓練事業 被災求職者等雇用・人材育成事業 沿岸地域食品事業者復興支援事業 デュアルシステム型被災者等ものづくり技術習得支援事業 認定職訓練施設災害復旧事業★ 公共職能力開発施設災害復旧事業★</p>
<p>II 保健・医療・福祉</p>	<p>災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備</p>	<p>被災地医療確保対策事業★ 医療施設耐震化促進事業 （仮称）医療施設等復旧・復興支援事業 地域支え合い体制づくり事業 被災地障がい者相談支援事業 老人福祉施設等災害復旧事業 被災地における介護サービス事業所人材確保事業 介護雇用プログラム事業 障害者支援施設等災害復旧事業 被災地における障がい福祉サービス事業人材確保・育成事業 子育てサポートセンター管理運営事業 子育て支援事業設備等復旧事業 医師確保対策推進事業 （仮称）地域医療医師支援事業 岩手県看護職員修学資金貸付金 安心と希望の医療を支える看護職員確保定着推進事業 （仮称）保健師等人材確保支援事業 （仮称）いわて災害医療支援ネットワーク事業 ドクターヘリによる病院間搬送対応施設整備事業 ドクターヘリ導入促進事業 （仮称）ドクターヘリ運航事業★ （仮称）災害拠点病院備蓄等支援事業 医薬品等に関する調達体制の検討 （仮称）災害拠点病院等非常用設備整備事業 老人福祉施設等自家発電設備整備事業 障害者支援施設等非常用自家発電機設置事業 （仮称）遠隔医療設備整備事業 老人福祉施設整備事業</p>

取組項目 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり
故郷への思いを生かした豊かで快適な生活環境づくり

No.2 多重防災型まちづくり推進事業

➤ 事業目的

津波対策の基本的な考え方（海岸保全施設・まちづくり・ソフト対策）を踏まえ、津波等の自然災害による被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進。

➤ 事業主体

県、市町村

➤ 事業概要

津波によって破壊された防潮堤等「海岸保全施設」のまちづくりと一体となった整備や、市町村のまちづくり計画策定に向けた技術支援や防災型シンボルロード整備等の「まちづくり」、避難経路の充実や防災文化の醸成等の「ソフト対策」3つを組み合わせた多重防災型まちづくりに向けた取組を推進

- (1) 海岸保全施設
 - ・ 海岸保全施設等整備事業
 - ・ 津波水門等電動・遠隔化促進事業
- (2) まちづくり
 - ・ 多重防災型まちづくり計画策定支援事業
 - ・ 復興まちづくり支援事業
 - ・ まちづくり連携道路整備事業
 - ・ 防災型シンボルロード整備事業
 - ・ 公共団体区画整理事業
 - ・ 避難ビル兼用複合型集合住宅整備事業
- (3) ソフト対策
 - ・ 緊急避難路整備事業
 - ・ 防災文化醸成事業

➤ 実施期間

平成23年度 ～ 平成30年度

多重防災型まちづくり推進事業

津波対策の基本的な考え方

海岸保全施設



まちづくり



ソフト対策



多重防災型まちづくり

具体的取組

【被災市町村】

連携

【岩手県】

施設整備

・海岸保全施設等整備事業、防災型シンボルロード整備事業、緊急避難路整備事業等

技術支援

・多重防災型まちづくり計画策定支援事業(浸水範囲等危険箇所の情報提供、海岸保全基本計画の策定等)

人材支援

・復興まちづくり支援事業(まちづくり、景観の専門家等を派遣)

【国】

「多重防災型まちづくり」の実現



取組項目 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり

No. 5 湾口防波堤等整備事業

➤ 事業目的

甚大な被害を受けた各港湾所在市の復興のため、第一線堤としての防災施設である湾口防波堤等の復旧・整備を促進。

➤ 事業主体

国

➤ 事業概要

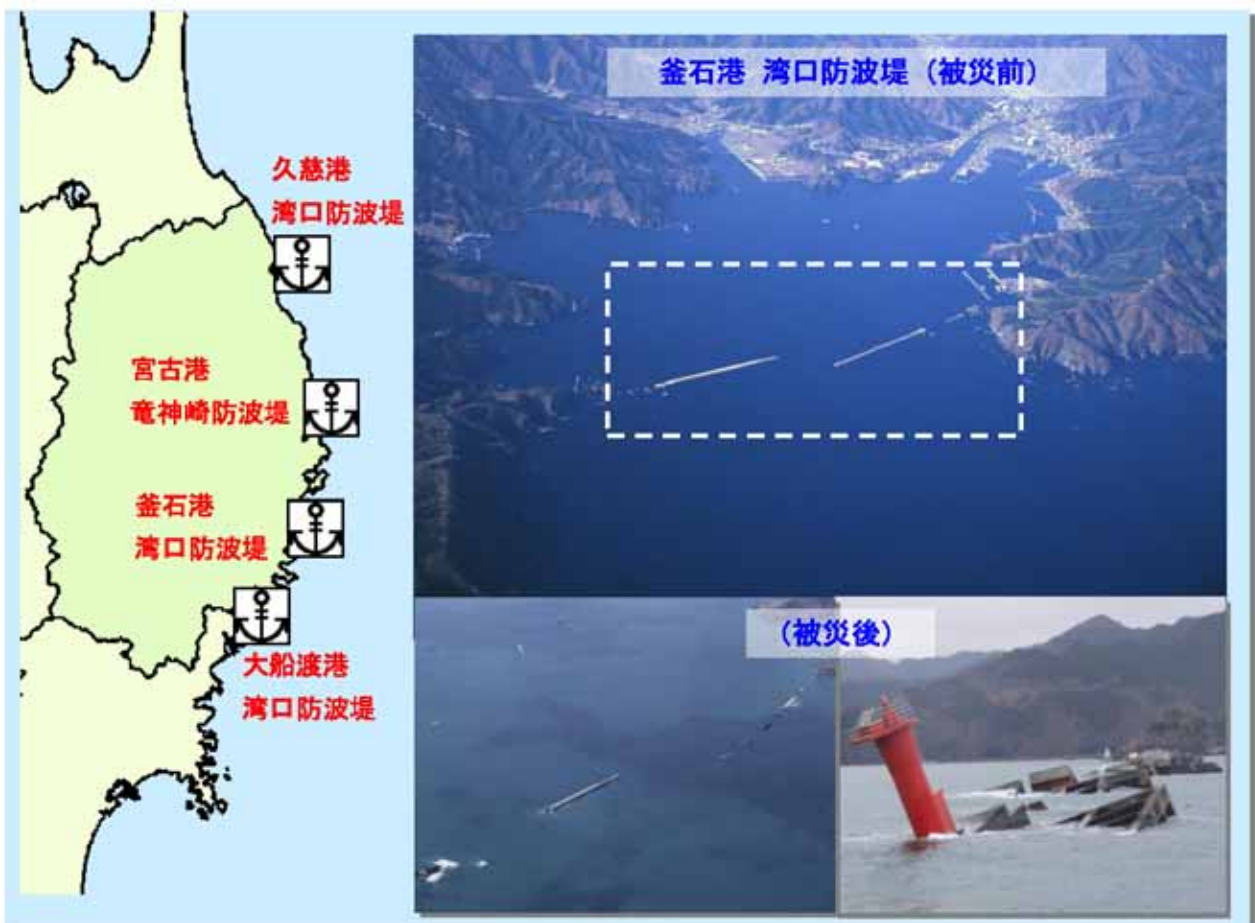
津波によって倒壊した釜石港、大船渡港湾口防波堤の早期復旧と現在整備中の久慈港湾口防波堤、宮古港竜神崎防波堤の整備を促進

- (1) 湾口防波堤の復旧 2箇所（釜石港、大船渡港）
- (2) 湾口防波堤等の整備 2箇所（久慈港、宮古港）

➤ 実施期間

平成 23 年度 ～

➤ 湾口防波堤等の復旧・整備



取組項目 故郷への思いを生かした豊かで快適な生活環境づくり

No. 8 メモリアル公園等整備事業

➤ 事業目的

東日本大震災津波の犠牲者を追悼、鎮魂するとともに、震災の経験や教訓を後世に語り継ぎ、より安全で暮らしやすい地域を創り上げていくための防災意識の向上等を「防災文化」として醸成し継承していくため、地域の防災拠点としての機能を兼ね備えたメモリアル公園等を整備。

➤ 事業主体

国、県、市町村

➤ 事業概要

犠牲者の追悼、鎮魂や、震災の経験、教訓の継承、地域の防災拠点としての機能を兼ね備えたメモリアル公園等の整備

➤ 実施期間

平成 23 年度 ～ 平成 30 年度

「防災文化」の醸成と継承

犠牲者の追悼、鎮魂

震災の経験、教訓の継承

地域の防災拠点

メモリアル公園等の整備

メモリアル公園等のイメージ



取組項目 災害に強い交通ネットワークの構築

No. 9 三陸復興道路整備事業

➤ **事業目的**

三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築。

➤ **事業主体**

国、県

➤ **事業概要**

(1) 復興道路

三陸沿岸地域の縦貫軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格幹線道路等の整備を促進

【縦貫軸(三陸沿岸地域の各都市間を連絡する高規格幹線道路等)】

①三陸縦貫自動車道 ②三陸北縦貫道路 ③八戸・久慈自動車道

【横断軸(内陸部から三陸沿岸地域へアクセスする高規格幹線道路等)】

①東北横断自動車道釜石秋田線 ②宮古盛岡横断道路(国道106号)

(2) 復興支援道路

内陸部から三陸沿岸各都市にアクセスする道路及び横断軸間を南北に連絡する道路、インターチェンジにアクセスする道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進

【横断軸(内陸部から三陸沿岸地域の各都市等にアクセスする道路)】

①国道395号 ②国道281号 ③(主)戸呂町軽米線 ④(主)軽米九戸線 ⑤国道455号

⑥国道396号 ⑦国道283号 ⑧国道107号 ⑨国道397号 ⑩国道343号

⑪国道284号 ⑫国道342号

【縦貫軸(横断軸間を南北に連絡する道路)】

①国道340号 ②(主)久慈岩泉線

【インターチェンジへのアクセス道路】

(3) 復興関連道路

三陸沿岸地域の防災拠点(役場、消防等)や医療拠点(二次・三次救急医療施設)へアクセスする道路及び水産業の復興を支援する道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進

【防災拠点・医療拠点へのアクセス道路】

①(主)軽米種市線 ②(主)野田山形線 ③(一)田野畑岩泉線 ④(一)普代小屋瀬線

⑤(主)宮古岩泉線 ⑥[県代行]宮古市道北部環状線 ⑦(一)宮古山田線

⑧(主)大槌小国線 ⑨(主)釜石遠野線

【水産業の復興を支援する道路】

①(一)角ノ浜玉川線 ②(一)侍浜夏井線 ③(一)野田長内線 ④(主)岩泉平井賀普代線

⑤(一)崎山宮古線 ⑥(主)重茂半島線 ⑦(一)吉里吉里釜石線 ⑧(一)桜峠平田線

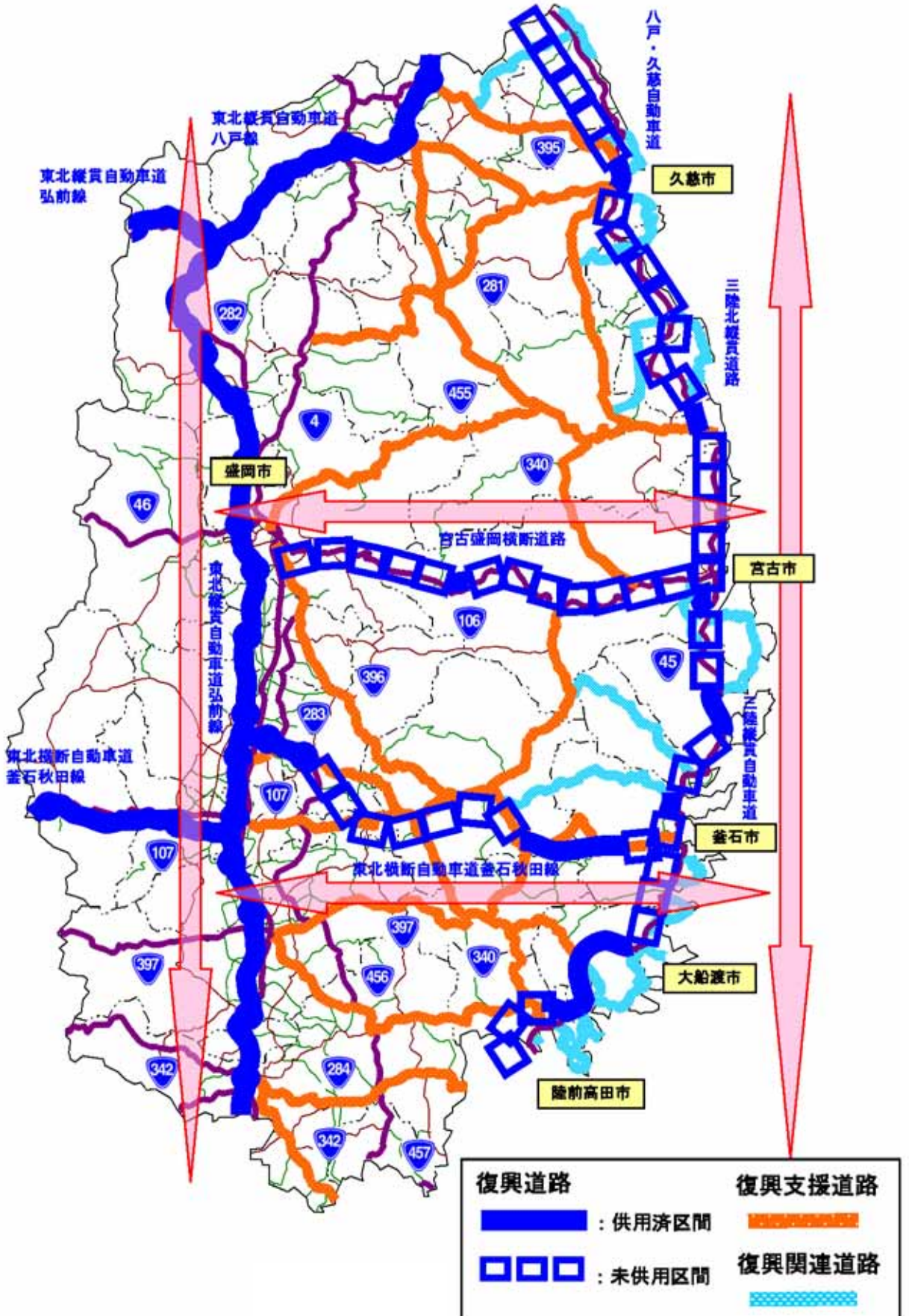
⑨(一)吉浜上荒川線 ⑩(一)崎浜港線 ⑪(主)大船渡綾里三陸線

⑫(主)大船渡広田陸前高田線 ⑬(一)碓石海岸線 ⑭(一)長部漁港線

➤ **実施期間**

平成23年度 ～ 平成30年度

三陸復興道路整備事業ネットワーク図



取組項目 被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援

No.12 災害復興公営住宅等整備事業

➤ 事業目的

東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、被災者用の恒久的な住宅を供給。

➤ 事業主体

県、市町村、民間企業

➤ 事業概要

- (1) 被災者の生活再建と地域の復興に寄与する安全で良質な災害復興公営住宅の整備を実施
- (2) 民間事業者を活用した災害復興型地域優良賃貸住宅等の整備を促進
- (3) 公的賃貸住宅団地における高齢者生活支援施設等の整備を促進

➤ 実施期間

平成23年度 ～ 平成28年度

